会社概要

ヤマトシステム開発株式会社 YAMATO SYSTEM DEVELOPMENT CO.,LTD.

略称

YSD

設立

1973年1月20日

資本金

18億円

株主

ヤマトホールディングス株式会社(100%)

取引銀行

みずほ銀行、三井住友銀行、みずほ信託銀行、 三菱UFJ銀行

事業目的

- コンピュータ利用システムの研究・開発・情報の提供及び コンサルティング業務
- 情報処理の受託・コンピュータシステムの運営管理及び これに伴う業務
- ソフトウェアの開発及び売買業務
- 労働者派遣業務
- オンラインサービス業務
- 付加価値電気通信業務
- コンピュータ・通信機器・事務用機械器具及び 同関連機器・同消耗品の仲介・売買・保守並びに貸付業務
- 貨物利用運送事業
- 倉庫業務
- 古物の売買業務
- 前各号に附帯する一切の業務

許認可等

総務省

電気通信事業者届出 届出媒介等業務受託者 無線局登録

厚生労働省

労働者派遣事業許可

東京都公安委員会

古物商許可

国土交通省

第一種貨物利用運送事業登録

倉庫業登録

トランクルーム認定

米国適合性認定機関 (ANAB) ISO9001認証取得(新東京IDC)

ISO9001認証取得(晴海オフィス(Z棟))

財団法人 日本適合性認定協会

一般社団法人 情報マネジメントシステム認定センター

ISO/IEC20000-1認証取得(新東京IDC) ISO/IEC27001認証取得(新東京IDC·本社(Y棟)) ISO/IEC27001認証取得(事業推進本部 システム部

システム運用)

ISO/IEC20000認証取得(事業推進本部 システム部 システム運用)

一般財団法人 日本情報経済社会推進協会

プライバシーマーク使用許諾認定

その他

PCI DSS (254631012)



FS 508432/IS09001:2015 新東京IDCにおけるサーバハウジングサービス 契約約款に基づくハウジング運用管理・サービ



顧客要求仕様に基づくシステム開発の 業務及び技術支援サービス



ITMS 508435/ISO/IEC20000-1:2018 新東京IDCにおけるサーバハウジングサービス契約 約款に基づくハウジング運用管理・サービスデスク 業務に関わるITサービスマネジメント



IS 546671/ISO 27001:2022 新東京IDCにおけるサーバハウジングサービス 契約約款に基づくハウジング運用管理・サービ スデスク業務



スデスク業務

IS 794021/ISO/IEC 27001:2022 金融業界に対する、ビジネスアウトソーシング 本版来外に対りる、こンネスアプトアーノング サービスの運用管理 武蔵小杉オフィス・束陽町オフィス・北海道ンス テム運用センター・関東システム運用センター・ 九州システム運用センター



ITMS 794023/ISO20000

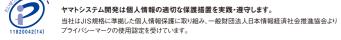
ビジネスアウトソーシングサービスの提供をサポー ビジネスアウトソーシングサービスの提供をサポートなもサービスマネジメトトシステム 武蔵小杉オフィス・晴海オフィス・東陽町オフィス・ 北海道システム運用センター・東北システム運用 センター・関東システム運用センター・中部システム 運用センター・関西システム運用センター・九州 システム運用センター





254631012

クレジット決済システム チャージ・バック業務支援システム カードDSSアドバンス各種サービス お申込Web受付サービス、カトド番号移行サービス、クレジット カード階離非保持化サービス、有料道路科全所フレジット決済 IC化対応サービス、JR東海エクスプレス・カード(E予約専用) 法人手続きサービス 消費者還元支援サービス





https://www.nekonet.co.jp/

CORPORATE PROFILE





ITで未来に笑顔を

Make future smiles

サービスを提供する際、何よりも大切にしているのは

お客さまに寄り添い、最善の答えを求めて、考え抜くこと。

ヤマト運輸の宅急便のシステムを担って半世紀、13,000社におよぶ幅広い業種の

お客さまを支えるまでに成長した今でも、その姿勢に変わることはありません。

デジタルを活用した最適なソリューションで、お客さまの満足、

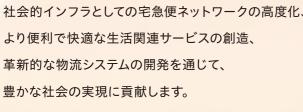
そしてその先にある暮らしと社会の豊かさの実現に貢献する。

ITで未来に笑顔を。ヤマトシステム開発の約束です。

ヤマトグループの経営理念

ヤマトグループは、

社会的インフラとしての宅急便ネットワークの高度化、 より便利で快適な生活関連サービスの創造、 革新的な物流システムの開発を通じて、

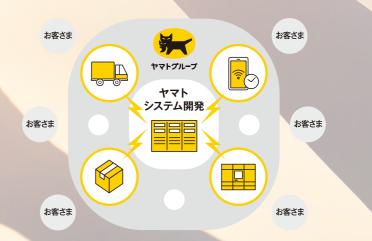




ヤマトグループのIT機能として、 ビジネスの基盤を支える

「豊かな社会の実現に貢献する」ことを経営理念 に掲げるヤマトグループ。

ヤマトシステム開発は、その中でIT領域を担い、 お客さまの、より快適な生活やビジネス成長に 貢献していきます。



POWER

笑顔を生み出すヤマトシステム開発の力



年間約23億個の荷物をシステムの面から支えるヤマトシステム開発。

半世紀におよぶ開発・運用実績を活かし、ITインフラの環境構築から、

事業活動を支える業務システムの開発・運用まで、トータルにサポートします。

ビジネス成長に貢献するITを構築

ヤマトグループのITを担う会社として、宅急便をはじめグループ各社のシステム開発・運用を支援。またその経験と知見を活かし、多種多様な業種・業態におけるお客さまのビジネス成長に貢献する高付加価値なITを提供しています。さらに、ビジネスの効率化のみならず、お客さまとその先のユーザーとのエンゲージメントを強める数々のシステムおよびソリューションを手掛けるなど、活動領域を広げています。

幅広い業種にわたる約13.000社のビジネスを支援

 金融・保険業
 製造業
 卸・流通・小売業

 情報通信業
 運輸・物流業
 農業・漁業

 教育関連業
 地方自治体
 その他

システム開発力

企業活動を円滑に進めるSoRから、顧客や取引先との 関係性を強化するSoEまで、幅広いニーズに対応。 年間約1,000件の開発プロジェクトを担っています。

システム運用力

ヤマトグループの基幹システムをはじめ、多くのお客さまの事業を支えてきた運用のスペシャリストが課題を解決するとともに、運用の最適化をご提案。 24時間365日、止まらない運用を実現します。

インフラ構築力

自社の高セキュリティなデータセンターやクラウドなどを用い、ビジネス要求に応じた最適なITインフラを設計・構築します。また、グループ全体の通信ネットワークの維持管理も行っています。







HISTORY

未来を切り拓いてきた、 半世紀におよぶ革新の歴史

1973年1月

大和運輸株式会社のコンピュータ部門を引継 ぎ、資本金5千万円をもって東京都渋谷区に ヤマトシステム開発株式会社を設立

1974



1973

1919年11月

大和運輸(現ヤマトホール

ディングス)が、トラック運送

1984年10月

資本金を3億円に増資

会社として銀座で創業

1974年2月

貨物輸送に関するオンラインシステム (NEKOトータルシステム)を開始



「小口輸送は儲からない」という常識を 覆し、「サービスが先、利益は後」の精神 で「宅急便」が誕生





1978年10月

資本金を8千万円に増資

1981年10月 1981

1984

宅急便荷物問合せシステムを開始 資本金を1億円に増資

コンピュータセンターとして 東京センターを開設

1978





1988

1990

1992

1992年11月

大阪センターを開設し東阪バックアップ体制完備

1988年10月 一般企業・団体向け

1990年11月

資本金を18億円に増資



1999年5月

プライバシーマーク使用許諾



通信販売 顧客管理システム「リピートくん」の発売

産地直送 顧客管理システム「産直くん」

新東京センターを開設

2006

2003 データセンターとして

2008

2003年6月

2006年7月

荷物情報提供を行うASPサービス 「宅急便追跡サービス(クラウド)」の発売

クレジット決済業務にてPCIDSS認証を取得

2008年2月 一般企業·団体向け

2011 2017

2017年4月 第8次NEKOシステム

2023

産直出荷支援サービス 「Web出荷コントロールサービス(産直)」の発売

2011年1月

一般企業・団体向け 宅急便送り状発行業務支援システム 「スマートCat(イージー出荷)」の発売

2019年11月 ヤマトホールディングス 創業100周年

2021年4月 Oneヤマト体制 への移行

2023年1月 ヤマトシステム開発 設立50周年

追求することで、未来の笑顔へとつなげる

お客さまに誠実に向き合い、ITの可能性を

MESSAGE

デジタル技術が社会に大きな変革をもたらす現代において、

私たちが変わらず大切にしているのは、お客さま一人ひとりに寄り添い、

その期待を超える価値の提供を通じて笑顔を生み出すことです。

この使命を果たすため、私たちヤマトシステム開発は、

ヤマトグループをITで支える経験を礎に、デジタル基盤とソリューション力を

一層強化し、より広く価値の高いサービスを展開することで、

お客さまにとって「替えの利かない存在」となることを目指します。

サービスの競争力向上に向けては、新たな価値を創出する体制を拡充し、

それを支える製造部門においても徹底したQCDの向上に努めてまいります。

さらに、社会やビジネス環境の急速な変化にしなやかに対応する力を

磨くとともに、生成AIをはじめとする新技術を積極的に利活用し、

「次の当たり前」を創造する挑戦を続けます。

これからも私たちは、ITの力でお客さまの未来を支え、

豊かな社会の実現に貢献してまいります。

私たちが事業を通じて、いつの時代も変わらず目指すこと。

ITで未来に笑顔を生み出す、それがヤマトシステム開発のミッションです。

代表取締役社長

栗丸 信昭



サステナビリティ

人がいちばんの財産。働きやすく、成長をサポートできる環境を創出

👱 ワークライフバランス支援

育児、介護、健康など個人の抱える役割や制限 に配慮し、休暇や時短制度、相談窓口を整備し ています。育児支援では、性別を問わず安心し て仕事と子育てを両立できる取り組みが評価さ れ、厚生労働省より「プラチナくるみん」に認定 されています。





👱 健康経営

社員の健康が最大の経営資源と考え健康経営 を宣言し、健康診断の事後フォロー、各種健 康施策の実施などの取り組みを行っています。 経済産業省より「健康経営優良法人大規模法 人部門」に、東京都より健康優良企業「金の 認定 | を受けています。





環境や地域社会への取り組み

○ 環境保全活動

省エネ・再生可能エネルギーの利用 拡大や廃棄物削減に向けた取り組み を行っています。

- ●自社ビルの電力消費抑制
- ●雨水再利用型の蓄熱排除システム導入
- ●再生可能エネルギー由来電力の導入 など

○ 社会貢献活動

地域・社会貢献活動に継続的に取り 組んでいます。

- ●補助犬支援
- ●中学生職場体験の実施
- ●団体献血の実施 など